



2024年2月8日

各位

会社名 岩塚製菓株式会社
代表者名 代表取締役社長 COO 榎 大介
(コード番号 2221 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員経営管理部長 竹部雅伸
(TEL:0258-92-4111)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年10月27日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

連結業績予想数値の修正

2024年3月期通期(2023年4月1日~2024年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	21,800	350	2,900	2,000	356円87銭
今回発表予想(B)	21,800	450	2,550	1,800	321円19銭
増減額(B-A)	-	100	△350	△200	
増減率(%)	-	28.6	△12.1	△10.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	20,386	△213	5,454	3,970	708円51銭

2. 修正理由

米菓業界では、市場全体の販売は昨年を上回って推移している模様であります。コスト面では原材料費の高止まりに加え人件費や物流費の増加が見込まれるなど厳しい状況が続いております。さらに、夏場の天候不順の影響から原料米事情が悪化するなど、調達面においても厳しい環境にあります。

当社におきましては、堅実な販売姿勢が一定の評価を得てシェアを確保できており、引き続き定番品主体に増収基調で推移、第3四半期迄の連結売上高は、計画を上回る16,497百万円(前期比109%)と伸長いたしました。

一方、損益面では、増収基調の堅持、原材料費や労務費の抑制、電力・燃料費の削減などにより製造原価の改善が図られた結果、第3四半期迄の連結営業利益は、620百万円となり、改善幅が拡大する見通しにあります。これは、欠品を起こさず供給責任を全うする姿勢とこれ迄の堅実な商品施策とが相俟って取引先の信頼が得られ販売増に繋がった結果であると自信を深めております。現時点では、第3四半期連結累計期間における営業利益は620百万円、経常利益は受取配当金の入金があり2,734百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,928百万円となりました。

第4四半期は、例年トップシーズンを終えいかに業績を維持するかに腐心する時期となりますが、これ迄の増収基調を保つべく企画品を交えながら主力商品の販売に注力してまいります。損益面では、季節的に生産量が抑えられるため製造原価が押し上げられ、また、大手各社の価格訴求による競争激化から販促経費が高まる見通しにあります。このため、現時点では、今年度通期の売上高は期初計画の21,800百万円を達成できると見込むなかで、営業利益は修正目標の350百万円を上回る450百万円と見込んでおります。

以上から、上記のとおり業績予想を修正いたします。なお、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、営業利益の修正および受取配当金の入金額に合わせ上記のとおりといたします。

- ※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上